

平成29年 造園業死亡災害の事例

各都道府県労働局発表データより作成

| | 都道府県 | 事故の型 | 起因物 | 災害の状況 |
|----|------|-------------|--------|---|
| 1 | 茨城 | 墜落・転落 | はしご等 | 個人宅敷地内の立木の伐採中、道路に木が倒れるのを防ぐため、2連ばしごを木に立てかけてワイヤーロープをかけようとしていたところ、5.9m下のアスファルトに墜落した。 |
| 2 | 茨城 | 激突され | 立木等 | 雑木林の立木の伐採作業において、被災者が落ちた枝の回収作業を行っていたところ、別の伐木作業者がチェーンソーを用いて伐倒した木に激突された。 |
| 3 | 群馬 | はさまれ・巻き込まれ | 一般動力機械 | 空き地の除草作業中、作業に使用していた乗用式草刈り機の下敷きになった。 |
| 4 | 群馬 | 墜落・転落 | はしご等 | 屋根に溜まった落ち葉の掃除を終了し、移動はしごから降りようとしたところ、約2.6mの高さから墜落した。 |
| 5 | 千葉 | 飛来・落下 | 立木等 | 伐採しようとする木の一部にロープを固定して2tトラックにつなぎ、高所作業車に被災者が乗り、高さ3.5mの箇所ではチェーンソーで幹を切断して、同僚が2tトラックを運転して木を引っ張って倒そうとしたところ、切り落とした木が被災者に落下した。 |
| 6 | 愛知 | 墜落・転落 | 立木等 | 剪定作業で木に登っていた被災者が、地上で倒れているのを発見される。 |
| 7 | 大阪 | 墜落・転落 | 高所作業車 | 高所作業車に取り付けられたタラップを使用して地上に降りる際に、高さ1.2m付近のタラップを踏み外してコンクリートの地面に転落した。 |
| 8 | 和歌山 | 墜落・転落 | 立木等 | 立木にはしごをかけて、チェーンソーを用いて伐採していたところ転落した。 |
| 9 | 広島 | 高温・低温のものと接触 | 高温環境 | 市道等の除草作業を終えて会社に戻り、その後事業所の駐車場で意識不明で倒れているところを発見され、2ヵ月弱入院していたが9月下旬に死亡した。(熱中症) |
| 10 | 広島 | 激突され | 掘削用機械 | ドラグ・ショベルで、コンクリートブロックをつり上げる作業中、バケットが下がり、近くでブロックの玉掛け作業を行っていた被災者の頭部にバケットが激突した。 |
| 11 | 佐賀 | 交通事故(道路) | トラック | 高所作業車を用いて街路樹を剪定していたところ、車道を走行してきた10tトラックの荷台が、高所作業車のブームに接触し、その衝撃で作業床に搭乗していた労働者2名のうち1名が墜落した。 |
| 12 | 佐賀 | 墜落・転落 | はしご等 | 剪定作業を行っていた被災者が地面に倒れているのを発見される。樹木脇にあった庭石または三脚脚立からの墜落と推定。 |
| 13 | 熊本 | 墜落・転落 | はしご等 | 高さ3.7mの三脚脚立の上に乗って剪定作業を行っていた被災者が、地面に倒れているのを発見される。 |
| 14 | 鹿児島 | 高温・低温のものと接触 | 高温環境 | 8月10日、道路わきの草刈り作業をしていた被災者に、400m離れた場所にあるトラック内で休憩するよう指示した後、行方が分からなくなり周囲を探したところ、近隣の建物の駐車スペースで泡を吹き意識がない状態で発見される。その後病院に搬送されるが3日後に死亡。熱中症と思われる。 |